

# 一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2014年11月号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

## 企業見学会を実施しました

今年度は、オリンパス株式会社のご協力で、11月14日(金)、同社技術開発センター(八王子市石川町2951)内にある技術歴史館「瑞古洞(ずいこどう)」の見学会を行いました。

「瑞古洞」は、オリンパス株式会社が創業時から現在にいたるまでの製品を展示し、技術的変遷や発展、同社製品がどのように社会の発展に貢献してきたかを紹介する技術歴史館と位置付けられています。

愛称の「瑞古洞」は、同社が開発した最初のカメラ用レンズ ZUIKO (瑞光) に由来し、古くからの製品を集めた洞穴をイメージして命名されたそうです。

当日は、天候にも恵まれ、濱田会長をはじめ会員企業、教員合わせて22名が参加しました。

展示は、3つのゾーンに分かれ、各ゾーンには展示物だけでなく、実際に機器を操作できる体験コーナーも設置され、工夫された展示となっていました。

### 1. 科学事業ゾーン

1919年に顕微鏡量産化を目指して創業した同社が翌年開発した初めての顕微鏡「旭号」から現在までの顕微鏡の歴史が一望できるゾーンです。顕微鏡を応用した航空機のエンジンや橋梁など、産業機器・社会インフラの検査に欠かせない非破壊検査装置の展示もありました。



科学事業ゾーン

### 2. 映像事業ゾーン

1934年にカメラレンズの研究に着手し、1936年にズイコー(瑞光)レンズが誕生しました。このゾーンは、同社初のカメラ「セミオリンパス1型」(1936年)をはじめ、「オリンパスペン」、「OMシリーズ」といったフィルム時代のものから、ミラーレス1眼PENシリーズといった最新機種数々の

カメラが展示されていました。



顕微鏡体験コーナー

### 3. 医療事業ゾーン

1950年世界発の胃カメラの開発に成功して以来、世界のトップを走り続けている同社の内視鏡は、世界シェア約7割といわれています。

本ゾーンには、数々の内視鏡のほかにも、内視鏡に使う処置具、内視鏡外科手術に使う様々な機器の展示がありました。



内視鏡体験コーナー

見学は、3班にわかれ、各ゾーンを順に見学しましたが、各展示物や体験コーナーも大変興味深くできており、1時間半の予定時間はアツという間に過ぎてしまいました。

技術懇談会では、毎年見学会を開催しております。会員の皆様で、「来年は、この施設を見学したい」といったご要望がありましたら、事務局までご一報ください。事務局のメールアドレスは、以下のとおりです。

[info@gizyutsucon.com](mailto:info@gizyutsucon.com) (担当: 佐々木)